

山本懸藏
在東京

其學、科書
在東京

本に渡り向の法部は尚不明なるも山本懸藏、
佐野宗平目下片山潜の旅宿に在り東京毎日新
聞社長は其一つアと云に霞西無に行き一モ旅
事の大震後述に帰国より又後藤以子の地考
森村三信現にモスニ一ル在り堺川河初め彼
著共龍手丹谷中一味は唱を沈めしは露文湖の
成行を凝視し与し一ノ女リ完了

10 20
今 H 時 也

11-1126
109

山本

各種思想團體調査報告書
（一）
獨存社（市外十軒念九ノ二番地）

法人協 調 會